

## 令和4年度 第1回スポーツ推進審議会 議事要旨

日 時	令和4年6月27日（月）9：55～11：33
場 所	第1委員会室
参 集 者	委 員／中條庸右、齋藤 隆、堀 俊一、齋藤 勉、田中 学、 金子 尚、大滝美樹、穂積 祥 欠 席／角南俊介 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、佐藤教育次長、齋藤課長、 梶原補佐、土門主査兼係長、乙坂係長、兵藤指導主事
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・令和4年度第1回審議会委員名簿</li> <li>・資料 1-1 令和3年度事業評価令和4事業概要 基本目標 1</li> <li>・資料 1-2 令和3年度事業評価令和4事業概要 基本目標 2</li> <li>・資料 1-3 令和3年度事業評価令和4事業概要 基本目標 3</li> <li>・資料 1-4 令和3年度事業評価令和4事業概要 基本目標 4</li> <li>・資料 2 新型コロナウイルス感染症の影響</li> <li>・資料 3 令和3年度施設利用状況</li> <li>・資料 4 令和3年度「酒田市のスポーツの推進に関する市民アンケート調査」</li> <li>・資料 5-1 休日の運動部活動の地域移行に関する基本データ</li> <li>・資料 5-2 運動部活動の地域移行に係る市民のスポーツ環境に関する将来像（案）</li> <li>・資料 5-3 部活動の地域移行に関する推進計画（案）</li> <li>・資料 5-4 部活動の地域移行に向けた意識調査</li> <li>・資料 5-5 総合型地域スポーツクラブと競技団体からみた部活動地域移行の課題について</li> </ul>

### 【委嘱状の交付】

- ・新型コロナウイルス感染症対策及び時間の有効活用という観点から、各委員の机の上に置くことで交付に代える。

### 1. 開 会（略）

### 【事務局より会議の成立について報告】

- ・「酒田市スポーツ推進審議会に関する条例」第6条第1項により、審議会は、委員総数の過半数の出席が要件となっている。本日の審議会については、委員総数9名のうち、出席者8名となっており、審議会が成立していることを報告する。

### 2. あいさつ（教育長）

- ・今年度から新しく、「酒田市スポーツ推進審議会委員」を委嘱させていただいた2名の方、そして昨年度より委員をお務めいただいている皆様、今年度も本市のスポーツ振興に力添えを賜りたい。
- ・第3期スポーツ基本計画を改めて確認してきた。計画には3つの視点と12の施策が載っ

ており、12 の施策の最初に「多様な主体が参画できるスポーツの機会創出」とあり、この中で運動部活動改革の推進も項目として取り上げられている。

- ・報道等では「働き方改革」という言葉が前面に出ているが、市教育委員会としては、そうした側面もあるが、子ども達の数が減少していく中で本市の子ども達にどういったスポーツの環境を市として残していけるのかが大きなテーマだと思っている。
- ・2年や3年の移行期の問題もあるが、その先も見据えて考えていかなければならないと思う。そういった意味でも、皆さま方からご意見を頂戴し、一緒に考えていただければと思うので忌憚のない意見をお願いしたい。

### 3. 協議（進行：会長）

（1）令和3年度の事業評価について【資料1-1から1-4】

（2）令和4年度の事業状況について【資料1・2】

（資料に基づき、事務局説明）

#### 【委員からの質疑・意見等概要】

- （委員）白崎資金について、原資は酒田駐車ビルが関係していると聞いた。新聞等でも報道あったが、今後のことも踏まえて教えていただきたい。  
⇒白崎重弥先生のご遺志により、スポーツ振興、医師を目指す学生への支援、文化財の保護管理という3点で、白崎資金を活用させていただいてきた。駐車ビルの土地賃借料が原資となっている資金だが、令和5年度の予算編成に向けて、財政サイドが関係課と協議をして市長の査定のもとに財源の在り方等については決まっていくものと予想している。
- （委員）資料1-1の数値目標でスポーツ行事への参加者数は延べ人数か。スポーツ行事を増やしていけば人数も増えていくという認識で良いのか。スポーツ少年団の加入者数について令和2年度と3年度を比較すると微増になっているが、考えられる要因は何か。  
⇒スポーツ行事の参加者数は延べ人数になる。市主催行事に合わせて、地区でやっている行事についても、各地区に問い合わせ調査した数値となっている。1人で4つのイベントに出ている方もいると思う。スポーツ少年団加入者の微増については、申し訳ないが把握していない。
- （会長）コミ振では市主催行事の項目、コミ振で実施した行事の項目を書いて市へ報告している。体育振興会でなかなかイベントができていない。地区ではコロナ禍でも実施できるニュースポーツなどの講習会をやっていると思うので人数は増えているはずである。
- （委員）スポーツ少年団加入率は30%程度。人数を確保するため、積極的加入を進めている団があると思う。今は、3歳から加入できる。スポーツを教えるというより、遊びの中から運動する楽しさを教えている。
- （委員）子ども達にスポーツの楽しさを教えるという観点から、自宅から小学校のグラウンドが見える。陸上の専門家が来て、子ども達に陸上を教えているようだった。水泳事業も3年ぶりに再開されるようである。陸上や水泳は、専門家が教えるとより楽しさが感じられると思うが、水泳については外部の専門家が来て指導しているものか。陸上も外部から専門家が来てやっているものか。  
⇒陸上競技の指導については、県教育委員会の事業を活用して市内小学校へ外部指導者の派遣を行っている。水泳についても、昨年度はできなかったが、今年度から通常の授業に戻っていく。以前は、県補助を使って外部指導者から指導してもらう学校が数校はあったが、現在は手をあげる学校は無。夏休み期間中のプール開放はしないので、監視員の方を配置する事業を前倒しして授業時に子ども達の安全管理を確保することをしている。

- (委員) 園の行事で市体育館を利用した。体育館も駐車場も広くて良かったが、トイレが不便だった。トイレが汚くて行けなかったという保護者もいた。耐震とかだと大きな費用が掛かると思うが、ちょっとした工夫で皆が気持ちよく施設を利用できると思う。
- ⇒市体育館は耐震診断をしていない。耐震補強できない施設なので、将来的には廃止の方向である。スワンスケートリンクの在り方についても市体育施設整備懇談会で議論していく。トイレについては他の利用者からも意見をもらっているが、大規模改修は難しい状況にある。簡単なものであれば対応可能かと思う。

### (3) その他

- 令和3年度スポーツ振興課所管施設利用状況について【資料3】
- 令和3年度「酒田市のスポーツの推進に関する市民アンケート調査」の概要【資料4】  
(資料に基づき、事務局説明)

#### 【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) アンケートを取った後、これからのスポーツ振興に施策としてどう活かしていくかが大事である。令和3年度の特記事項として、コロナ禍であったこと、オリンピックが開催されたことが挙げられる。オリンピックの開催が市民の関心につながらなかったのか。そういった大きい視点での総括も必要だと思う。健康だけ思う人が増えていて、スポーツ実施率が下がっている。また、運動不足を感じないという人も増えている。この辺をどのように理解したらよいか。無関心層をどう引き付けていくか。私は、オリンピックが開催されたことが大きいことだったと思う。ただ、総括はしておく必要があると思う。
- ⇒アンケートは無作為で1,000名を抽出して行った。オリンピックがあったということで、「みる」ことがどれだけ増えてきたかという視点での分析は正直していない。無関心層はゼロにはできないと思うが、施策を考える際に頂いた意見を参考に検討していきたい。
- (会長) アンケートの結果を次の施策にどう活かすかが大事である。

#### ●中学校運動部活動の地域移行について【資料5】(資料に基づき、事務局説明)

- ・本審議会に関する条例中、第2条の任務において、「審議会は、スポーツ基本法第31条及び第35条に規定するもののほか、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議する」と規定されており、その(7)として、「スポーツの推進に関すること」とあることから、この審議会でも運動部活動の地域移行に関することを取り上げさせていただく。
- ・この部活動の地域移行については、その内容に指導者の確保や養成、スポーツ団体の育成、スポーツの技術、水準の向上など、同条に掲げる(2)(4)(6)等の事項とも密接に関係する内容を含んでいるので、皆様より忌憚のないご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。
- ・最近の報道では、部活動の地域移行に関して、教員の働き方改革に資する面が色濃く報道されているが、資料で確認したように、部活動の地域移行が叫ばれるようになった背景としては、在籍生徒の絶対数が減少していることが大きな要因となっている。
- ・市教育委員会では、この運動部活動の地域移行をきっかけとして、本市におけるスポーツ環境の見直しを進めていきたい考えである。
- ・学校から発信するような形で、それぞれの学区の地域性や種目の特性などを考え合わせ、可能などころから休日の部活移動の地域移行を試行していきたいと考えている。
- ・このような改革を進めるに当たり、制度的なバックアップとしては、本市が実施する「スクール・コミュニティ」の中で、令和5年度以降に配置を予定している「地域プロデューサー」の配置がカギを握るものと捉えている。

- ・当面、この審議会の中で皆様との協議を進め、運動部活動の地域移行について大きな方向性を確認しながら進めていきたいと考えている。
- ・令和5年度からの「改革集中期間」の前となる今年度を「準備期間」と位置付け、今年度は、各中学校から地域の関係する諸団体等に働き掛けを行い、可能などころから休日の部活動の地域移行に向けたモデルづくりを行う。このようなモデルを立ち上げるに当たり、地域との連携の具体の在り方等を蓄積し、次年度以降の「改革集中期間」において、そのノウハウを他地区においても活用していきたいと考えている。
- ・皆様からは、本（案）に対し、忌憚のない意見を頂戴したい。

- （会長）この件について、現在は移行期ということだが、今後の子ども達にとって最適な部活動環境を作っていくうえで、皆様からの意見が非常に重要になってくると思われる。より多くの視点から見た意見や課題発掘の方、よろしく願いたい。

#### 【委員からの質疑・意見等概要】

- （委員）この間、スポーツ少年団の全国の研修会があり、この中学校運動部活動の地域移行について討議した。スポーツ少年団で中学生を受け入れるとき、スポーツ少年団という名称でいいのか、地域移行の中で適切な名前に変えていくことも必要ではないかと考えている。スポーツ少年団本部としては、そういう意思があることを伝えたい。
- （委員）2年前にこの審議会でこの話を申し上げて、今に至っている。このたび市の方でこういう方向に進むということが聞いたのは非常に有難いと思ったところである。中体連だけで考えても、なかなか進まなかった。本日、案ではあるが、示していただいたのでスタートできると感じている。各学校それぞれ課題を持っている。総合型地域スポーツクラブが受け入れができそうとか、クラブ振興会とか、ぎりぎりスタートが切れるかなど。今、スポーツ少年団もあると提示いただき、考える一つの手立てになる。
- （委員）コーチを地域の方々へお願いしている部分があるが、全ての部活動にコーチが配置されているわけではない。まず、指導者を発掘することが必要になってくる。今もボランティアで指導してもらっているのに、金銭的な保証がない中で、先生方が土日の部活動から手を引くので、土日もボランティアで指導をお願いするとことに心苦しさを感ずる。
- （委員）今後は文化部のことも考えていかないといけない。スポーツは体育館の鍵を貸して済むかもしれないが、文化部は校舎の中で活動をするわけで、そのような問題などをどう解決していったらよいか、スクールコミュニティの中で地域の方々と話し合いをしながら目星をつけていかなければならないと思った。
- （委員）生徒数の減少は本当に困っている。これから先も減っていく状況の中、単独校でチームを組めない状態にある。学校の生徒の数に見合った部活動の数にしていくという話もしていかなければならない。ただし、長年、その地域、その学校で頑張ってきた部活を無くするといった様々な面で配慮を要する難しさもある。
- （委員）スポーツ少年団では認定指導員が指導者を養成していた。今は日本スポーツ協会の資格へ移行時期となっている。以前は資格を取ると永年資格だったが、日本スポーツ協会の資格は4年間で更新するもの。勉強した指導者がそのまま日本スポーツ協会の資格に移行すれば、相当数の指導者が確保できると思う。スポーツ少年団がリードを取ってやることだけはしたくない。地域からの応援も必要。スポーツ推進委員会や体育振興会、市スポーツ協会などを含めながら検討していかなければならない。日本スポーツ協会の資格は令和2年度からスタートしたが、負担金が4年に1回更新料が掛かることがネックである。

- （会長）保護者と当事者である生徒がどのような部活動を望むのかが大事。ここで話しても、直接関係する生徒もいないので、当事者（保護者・生徒）にある程度話していかないといけないと思う。学校で決めたとすると、なかなか大変だと思う。
- （委員）事前に資料について丁寧に説明してもらった。審議会では、資料5-2の内容等について概ね了解をするような場で、詳細な内容について議論をする場ではないと思う。スポーツ関係団体から理解を得て、進められるところからやっていく段階に入ってきていると思う。この部はどうするとか、そのような段階になってきていると思う。検討会を立ち上げていく、この段階から一歩前進するような会議を設けて、やっていけるところからやるべきと思う。
- （委員）酒田スタイル的な発想もあるようなので、部活動を通じて地域も元気にしていこうという意味もあるかと思っている。市スポーツ協会としては競技団体も含めて2回ほど説明を聞いたが、スポーツ少年団本部も本部長だけが説明を聞いている状態だと思う。そういうことを考えると、そろそろ地域ごとに入って進めていかないと、どんどん日にちだけ過ぎていく。審議会には地域での進捗状況の報告だけで良いと思う。
- （委員）新たな会議組織を作って、モデルケースになるよう進めてほしい。今は個別の部に入って、保護者からも意見を聞いて課題を挙げて、具体的に検討していく時期に入っていると思う。
- （委員）総合型地域スポーツクラブに関しては、東京の日本スポーツ協会に1か月研修に行ってクラブマネジャーの資格を取得してクラブ運営している方もいる。山形県に数名しかいない。他にアシスタントクラブマネジャーの資格というのがあり、私も持っている。更新期間が4年で義務研修を受けて更新ができる。運動部活動の地域移行で一番気になるのが金銭面。事務に特化した人に事務作業を頼めばうまくいくと思う。
- （委員）さけがわ友遊C‘Love（鮭川村）は県のモデルにもなっているが、この運動部活動の地域移行の話が出てきた当初から率先して、地域に溶け込んで取り組んでいる。本市の総合型地域スポーツクラブの中にも事務作業を一手に引き受けてくれるクラブも地域にはあると思う。
- （委員）指導者の話が出ているが、どの市町村でも問題になってくることである。山形県スポーツ推進委員会協議会の理事会に出席した際、「リーダーバンクやまがた」という指導者についての資料をいただいた。スポーツ指導者情報提供システムへ登録し、部活動などの外部指導を行った際に謝金が支給されるのこと。先日開催された、市スポーツ推進委員会の部会でも指導者登録してはどうか委員の方々へ話をした。
- （委員）鶴岡市では休日は部活をやらないとか、同じ子ども達の教育を考える場所なのに、市によってスポーツの捉え方が違うことを感じている。課題も多くあると思うが、オリジナルのものを進めてほしい。
- （委員）去年は東京オリンピックがあつて、子ども達のスポーツへの関心は非常に高まってきていると思う。中学校の部活動にない種目（バドミントン等）をやりたいという子ども達がいる。学区を越えても、子ども達が希望する種目ができるようにというのが一番の願い。中学校区にとらわれず、選択肢が広がるような形になっていけばよい。この計画の下、関係団体から協力を頂きながら検討してもらえれば有難い。
- （委員）自分の中学校区にない種目で他学区に行かないと活動できないという、現状は送迎の問題が出てくる。送迎に関して、スクールバスを使っただけじゃないかというお願い。これを続けていくにあたって、総合型地域スポーツクラブの立場を考えると、どこかに指導に行くとなると対価、金銭面の問題が出てくる。ボランティアでは続かないと思っている。自分の子どもが中学校にいるときは、保護者として指導に協力するのはいいかもしれないが、子どもが卒業したら指導を辞める保護者もいると思う。指導者確保を継続的

にしていくためには、やはり対価を支払える予算確保をしていただきたい。

- (委員) 会議を開いてみると色々課題が出てくる。謝金の問題、送迎の問題、責任の問題、色々な問題が出てくる。ある程度は教育委員会でも把握している部分だと思う。実際に現状でも対価をもらって指導している人とボランティアで指導している人で不公平感がある。中体連の大会参加についても、日本全体の流れの中で来年から大きく変わるようである。酒田スタイルがあったとしても、鶴岡や庄内一つでやるといった考え方もあっても良いと思う。
- ⇒これから進めていくにあたって、学校の中で地域の関係者の方々と話を進めていかなければならない。例えば、スポーツ競技団体、スポーツ少年団、体育振興会、総合型地域スポーツクラブの情報交換会、スポーツ推進委員会などの集まりがある際に、われわれが出向いて説明に伺いたい。学校から協力要請があった際は協力をお願いしたい旨を地域の方々へ伝えながら回らないといけないかと思ったところである。機会がいつあるのか、どこでできるのか、情報を寄せてもらえるかと有難い。
- ・委員には、本日の審議会での様子や教育委員会の動き方、この案を基に学校と地域の関係者を集める機会など、具体化する方向で考えた方が良いといったことを校長会へ伝えていただくと助かる。次の具体の一步を今話した内容で進めていければ良い。皆さんからまた意見を頂きたい。
- (委員) 今の進め方で良いと思う。本日の審議会で話した内容をバックボーンにして地域に入っていけばよいと思う。
- (会長) スポーツ少年団本部、体育振興会、スポーツ推進委員会などは、スポーツ振興課が事務局を担っているので、会議日程等は市で調整できる場面もあるかと思う。市スポーツ協会では7月29日に各競技団体の会長等が参集して情報交換会を行うようである。

#### 4. その他

##### ○酒田市体育施設整備懇談会について(事務局より説明)

- ・7月26日に第1回懇談会を開催予定。1回目は市光ヶ丘野球場、2回目は市体育館の在り方について話し合いをする。
- ・懇談会で出された意見については、第2回スポーツ推進審議会でも報告させていただく。

#### 5. 閉 会(略)

以上